

しんめいばら

回 覧

第 181 号
2020.5.20

定期整備!

新型コロナウイルスの蔓延に収束傾向が見えてきたため、五月十二日（火）十名の会員にてマスク着用、密接の会話を避けながら公園の整備を行いました。今回は県グリーンバンクよりの支給をいただいたゼフィランサス二百球の植え付けや、春とは思えない真夏のような暑さと適度な雨で伸びた雑草取りなどの作業を進めました。会員も久しぶりの屋外活動で汗を流し、予定の時間を超えましたが「気分が晴れて大変よかった」との声が皆様から聞かれました。



ストレス解消ができました!



建設予定地!

公園集会所!

自治会にて建設を計画中の公園集会所について市の建設に対する補助金支給が決まり、建設の具体化に向けて大きく前進しました。建設予定の場所は検討の結果公園東側にあるトイレの横となり、敷地面積が約二十坪の二階建てで今期中に完成の予定です。通常の開所は週五日で自治会のみならず、公園を訪れるごなたにでも使っていただけるような間取りとなります。サークル活動などの使用にも対応いたしますのでご期待ください。

豆知識!

『花は盛りの見るだけ?』
「花が散ってわびしげになった庭などこそ風情がある」(徒然草。原文ではありません)花は盛りにだけ見ていたのでは、花の本当の味わい方ではないといっています。咲く前、咲いた後に目を向ければ、庭がもっと愛しくなるのかもしれない。花のつき方を眺めるのも、味わい方のひとつでしょう。たくさんの花を穂のようにつける花には、下から順に咲くもの、先端から順に下へ向かって咲くものがあります。ワスレナグサは、下から上に向かって咲きます。先端の方が咲くとき、下の花は、咲き終わって実が変わっているのを見ずるでしょう。



**「私のことを忘れないで」
ドイツの伝説から付けられた名前!**

今日の公園!



色も鮮やか!

お知らせ!

- 六月の公園整備は、七日及び二十一日です。施肥、灌水、雑草取りなどを行いますのでご参加ください。
- 六月の回収、ピン・缶は二十三日（火）、古紙は二十八日（日）です。自治会の回収活動にご協力下さい。
- 高松神明原公園愛護会は現在十八名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずごなたでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・一三七五一八一 山本まで